

【開催直前】取材のご案内

2020年より先の未来の街をつくる技術・製品・システムが集合 日本最大級の総合展
「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」
～今年も規模を拡大して2会期で開催～

第34回 フランチャイズ・ショー2018

人手不足・少子高齢化・インバウンドにも対応！
日本最大規模のフランチャイズ・ショー まもなく開催

2018年1月31日(水)～2月2日(金)

東京国際展示場「東京ビッグサイト」東4・5ホール

日本経済新聞社は「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」(6展示会と1特別企画)を2018年1月31日～2月2日の3日間(前半会期)と、2018年3月6日～3月9日の4日間(後半会期)の2会期にわたり、東京ビッグサイトで開催します。

1月31日から開催する前半会期のフランチャイズ・ショーは34回目の開催で、フードサービス業・小売業・サービス業のフランチャイズ(FC)本部による加盟店募集をはじめ、自社製品・サービスの販売店・代理店、特約店、業務提携先などのビジネスパートナー募集、FC本部向け支援ビジネスのコンサルティング・出版など関連事業が出展する国内・業界最大級のイベントです。

今回の開催規模は227社・団体、498小間(2018年1月25日現在)。展示スペースを毎年拡大し、フランチャイズ・ショー単独としては、史上最大規模となっています。

新たに、人手不足や少子高齢化、インバウンド対応など近年顕著になってきた課題の解決に寄与する「課題解決ソリューションゾーン」を設置します。また、海外関連ゾーンも拡充し、新しいビジネスチャンスの選択肢を増やしました。

新規ビジネスの立ち上げを検討する法人、個人の独立や開業・副業希望者など、30,000人以上の来場を見込んでいます。

◆フランチャイズ・ショー 2018 の見どころ ◆

※詳細は別添「今回のみどころ」をご覧ください

<https://messe.nikkei.co.jp/fc/>

●ペット専門サービスが増加(ペットの病院や介護、葬祭業まで!)

犬や猫をはじめとしたペットへの人気・家族の一員感が高まる中、人間顔負けに拡充したサービスをご紹介します。

●日本から海外展開を目的とした出展/日本展開をめざす海外からの出展の増加

日本でのフランチャイズ展開に注目する10カ国・地域が出展。この展示会の中で海外出店が決まる出展者も!

●超高齢社会到来により、引き続きシニア向け事業や健康志向のフィットネス FC ビジネスが活況!

90歳以上が初の200万人超え、65歳以上の高齢者率は27.3%に達する中、ビジネスのターゲットは高齢者へ

●一億総活躍政策の影響か? 家事のアウトソーシング「家事代行サービス」に人気集まる

共働き・高齢者・単身世帯・民泊の増加という社会現象から将来6,000億円市場になるとも予測される業界に注目!

本展示会の取材お申し込みは別紙「ご取材お申し込み FAX 返信用紙」にて受け付けております

今回のみどころ ※展示内容は変更になる場合がございます

第34回 フランチャイズ☆ショー2018

フランチャイズ本部による加盟店募集をはじめ、本部向けの製品・設備・システムなどを紹介する日本最大級のFCショー

第34回「フランチャイズ・ショー2018」は、1月31日(水)から2月2日(金)までの3日間、東京ビッグサイト東展示場4・5ホールにて開催いたします。国内最大規模の約227社、過去最大498小間(2018年1月25日現在)で開催する今回は新たに、人手不足や少子高齢化、インバウンド対応など近年顕著になってきた課題の解決に寄与する「課題解決ソリューションゾーン」を設置します。また、海外関連ゾーンも拡充し、新しいビジネスチャンスの選択肢を増やしました。

●ペット専門サービスが増加(ペットの病院や介護、葬祭業まで!)

2016年に発表された一般社団法人ペットフード協会の調査によると、日本におけるペットの飼育数は犬約991万7千頭、猫約987万4千頭でその合計だけでも約1,979万頭。現在15歳未満の子どもが約1,600万人あまりなので、核家族化や少子高齢化により、ペットの家族の一員化はより加速していくと考えられます。豊かな環境での飼育によりペットの平均寿命も伸び2016年は犬14.36歳、猫15.04歳と人間で言うところの75歳以上になっています。犬については30年で倍近く延びたとも言われています。そこで飼主が直面するのが年老いたペットたちの病気や介護、死です。そんなペット専門サービス企業が集合。犬や猫をはじめとしたペットへの人気・家族の一員感が高まる中人間顔負けに拡充したサービスをご紹介します。

・動物看護師によるペットの看護・介護。リハビリも。



▲株式会社 CARE PETS

ペットの訪問看護・介護。通常のペットシッターでは対応出来ないリハビリも、動物看護師のシッターにより実施可能。有事の際のペット救急車まで完備。

・ペットが旅立った後、自宅でのセレモニーをサポート



当日セレモニーの
デモ・火葬車有り

▲株式会社カーベル

ペットの訪問火葬サービスで、移動式火葬車により自宅でのセレモニー・火葬・収骨までが可能。家族同然のペットを亡くした悲しみも寄り添う。

・ペットの平均寿命 20 才の未来に向けたラグジュアリーサービス。天然ミネラル成分でのスパも



▲アニドッグ株式会社

動物病院直営事業&フランチャイズ事業・往診動物病院直営事業&ネットワーク事業・ペット共生マンションコンサルティング事業を展開しペットの医・職・住・情報を創出。

ペットフランチャイズビジネスについて詳しい(ご希望がございましたら、個別取材の調整を行うことも可能です。)

株式会社 CARE PETS(ケアペット) 代表取締役 藤田英明

<プロフィール>

株式会社CARE PETS 代表取締役/医療法人杏林会八木病院 理事/株式会社けあらぶ 代表取締役/トリプル・タプリー・ジャパン株式会社 顧問
2004年:夜間対応型デイサービスで創業/2005年:埼玉県熊谷市・深谷市に27拠点直営展開
2006年:株式会社日本介護福祉グループ設立/2014年:内閣府規制改革会議に参画
2016年:株式会社CARE PETS設立

2016年、藤田が飼っていた猫「クロちゃん」が29歳になり、若い時は走り回っていたクロちゃんが、歳を重ねるにつれて、走らなくなり、飛ばなくなり、次第に徘徊や失禁、異食などの認知症症状が出てくるように…そんなクロちゃんとずっと一緒に生活をしていて「犬や猫も人間と同様に高齢化してきて、自分と同じように、ペットの介護や看護、散歩や食事などの生活面で困っている方が、実は大勢いるのではないか…?」と考えるように。

それをきっかけに2016年8月に「動物看護師によるペットの訪問看護・介護・シッター」サービスを開始。

2018年からは、ペットの救急車「わんにゃんレスキュー隊」をはじめ、愛犬と通えるデイサービスや猫カフェデイサービス、保護犬・猫をみんなで育てるデイサービスなどを展開していく予定。



●日本から海外展開を目的とした出展/日本展開をめざす海外からの出展の増加（10カ国）

・地方の味を世界に発信（初出展 北海道・札幌パビリオン） 北海道の飲食店の海外展開を、札幌市が後押し！



販売有り

▲株式会社開高

シンガポールにも支店を持ち、日本の食文化を海外に広げるため美味しい食情報の発信を行っている。



試食有り

▲株式会社ブルックスカレー

札幌産幻のたまねぎ札幌黄のみを使用したカレーを目玉に、海外初出展を狙う。



販売有り

▲株式会社シンセン（忍者麺）

電子レンジ調理可で誰でも均一の味に調理できる長期保存可能ラーメンのフランチャイズ展開及びパッケージ製品の輸出を実施。

・株式会社アイチフーズ

弁当店・定食屋・蕎麦屋を展開。シンガポールに2店支店を持つ。

・有限会社 TYRELL

ローカルなスープカレーのグローバル展開を目指す。（試食有り）

北海道からフードフランチャイズの海外展開を目指す！（ご希望がございましたら、個別取材の調整を行うことも可能です。）



樋田 裕貴

外食産業海外展開実行委員会 事務局

札幌市 経済観光局 国際経済戦略室 食・健康医療産業担当課

外食産業海外展開支援事業：札幌市内の民営事業所数で最も多く、札幌の魅力在海外に発信する潜在力が高い飲食店の海外への店舗展開を支援することで、外食産業の収益基盤の強化や、海外における北海道・札幌の認知度向上による道内への外国人観光客の増加を目指します。外食産業海外展開実行委員会は、上記の事業を実施するため、平成26年に設立されました。現在、各構成機関の強みやネットワークを生かしながら、企業の海外販路拡大支援の取組みを進めています。（構成団体：札幌市、旭川地域産品マーケティング支援事業実行委員会、札幌商工会議所、札幌食と観光国際実行委員会、北海道食産業総合振興機構、日本貿易振興機構北海道貿易情報センター）

・日本でのフランチャイズ展開に注目する 10カ国・地域の企業や団体が出展！



試食有り

▲IRVINS SALTED EGG

シンガポールの塩漬け卵のポテトチップスとフィッシュスキン専門店



▲LITTLE SHEEP HOT POT

中国の火鍋専門店。120以上の都市に300軒の店舗を展開している。



▲イタリアフランチャイズ協会 /

Morganti Caffè Bar

BRDコンサルティング社代表・国際フランチャイズ専門家協会会長フェデリコ・フェリーニが来日。空前の日本ブームのイタリアやヨーロッパ進出をサポート。



▲マレーシアパビリオン

マレーシアの伸長企業8社で初の出展！
日本でのフランチャイズ展開・活動拡大を目指す。

マレーシアパビリオン 出展8社

- ・Bangi Kopitiam: トムヤムクンなど様々なマレーシア料理を提供している。
- ・Global Art: 子どもたちに絵を描くことの楽しさを教える絵画塾。
- ・LaundryBar: マレーシア発・コインランドリーサービス。
- ・Marrybrown: 地域色のある香り米のメニューも！ハンバーガーショップ。
- ・PONEY: 赤ちゃん・子供用の子供服専門のフランチャイズを展開している。
- ・Rotiboy: アジアで人気のベーカリー、日本上陸を狙う。
- ・Smart Reader Kids: 「子どもの夢の学校」として、21世紀型の児童発育センターを世界で450展開している。
- ・The Manhattan FISH MARKET: 揚げたての魚介類メニューを中心にアジアで展開。

●超高齢社会到来により、引き続きシニア向け事業や健康志向のフィットネスFCビジネスが活況！

平均寿命が長くなり、少子化が進むにつれ、社会の中で高齢者の占める割合が増加している。高齢者の割合が多い傾向は、先進国を中心に進んでいるが、世界1「高齢化率」が高いのが日本。2025年、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる年。遂に4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来する。そんな超高齢社会の日本を支える、シニア向け&フィットネスFCビジネスが一同に紹介します。

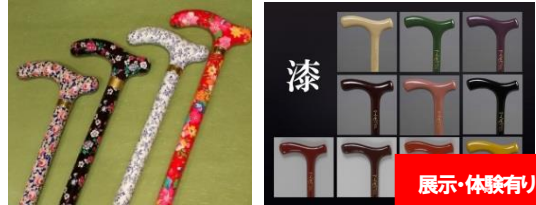
・ケガをしてもまだまだ現役！リハビリ特化デイサービス



▲株式会社ヒューマンリンク

利用者の自立した生活を支援するためのリハビリテーションを提供する
デイサービス「カラダラボ」。

・シニアだから地味。はもう通用しない！



▲つえ屋

「持ちたくない物を笑顔で持ってもらいたい」を目指す、杖・ステッキを販売する専門店。

・地域のシニアが集う健康サロン



▲株式会社マルタカ・パルス

交流磁気治療器の無料体験会場で1日100名~300名ものリピーターが来場する「マルタカ健康サロン」を紹介。

・自宅の介護リフォーム需要拡大



▲株式会社ユニバーサルスペース

大手建設会社・工務店が敬遠しがちな廊下やトイレ等の手すりの設置といった小規模でも需要の高い工事を中心に扱う日本初の介護リフォームフランチャイズ。

●一億総活躍政策の影響か？家事のアウトソーシング「家事代行サービス」に人気集まる！

2006年時点ではタウンページに登録されていた家事代行サービスはたった206件。しかし2014年時点では629件と短期間で3倍以上も増加しました。一億総活躍政策の影響などで共働き家庭が増えています。そして家事が体力的に負担となる高齢者世帯、全て一人でこなすせいで手が回らない単身世帯も増加。そして2017年3月に「住宅宿泊事業法」が閣議決定されたことで注目される民泊も、利用後には清掃が必要となり新たな需要も伸長しています。これらの社会現象から将来6000億円市場になるとも予測される業界のサービスをご紹介します

・洗濯代行+クリーニング+コインランドリー！



▲株式会社アピッシュ

アメリカやヨーロッパなどの国々では知られている WASH&FOLD(洗濯・乾燥し、手でたたむ)サービスを提供し、洗濯から解放される新習慣を提案する。

・ショッピングしている間にお洗濯も完了！



▲株式会社ジーアイビー

商業施設の駐車場を中心にコインランドリー店舗を展開し、お買い物している間に洗濯ができるサービス「ショッピング DE ランドリー」を紹介。

・有人コインランドリーサービスの先駆け！



▲株式会社ランドリーデポ

無人のサービスが多い中、有料コインランドリーサービスの先駆けとして、最大の店舗数・売上となっている。24時間カスタマーサービスも提供。

・日頃のお掃除から専門清掃まで。



▲HITOWA ライフパートナー株式会社

日頃のお掃除や家事代行から、専門清掃や床等のコーティングまで提供。洋服お直し・リメイクサービスも。生活に寄り添う幅広いサービスを紹介する。

・業界初！ハイクで小回りがきくお掃除代行

・お掃除・買い出し・庭木のお世話も何でもござれ！



お掃除デモ有り



▲株式会社おそうじ革命

ハウスクリーニング・エアコンクリーニングサービスを業界初のハイク便で提供。

▲株式会社ダスキン

洗濯をはじめ、お掃除や食器洗い。そして衣替えやお買い物、そして害虫駆除にガーデニングまで。お家を総合的にキレイにするサービスを紹介する。

展示会には、2020年の未来の街をつくる多数のキーマンが来場され、セミナー等を行います。
ご希望がございましたら、個別取材の調整を行うことも可能です。

※敬称略

副業でフランチャイズ加盟 セミナー開催！（ご希望がございましたら、個別取材の調整を行うことも可能です。）



「独立したいけれど、今の安定した給料と肩書を手放すのは不安だ」という場合、副業でフランチャイズを独立するということが考えられます。実際に社勤めしながら副業でフランチャイズ加盟をした4名の方に話をうかがいます。
https://messe.nikkei.co.jp/fc/seminar/#seminar_136866

セミナー講師：菊池 保人

リクルートキャリア「アントレ」編集長

- ・2001.10～2009.3 次の領域にて事業のIT戦略立案・実行部隊責任者となる
HR領域(新卒・中途・アルバイト・パート)/住宅領域(分譲・仲介・注文・賃貸)/進学/学び/結婚/自動車/旅行/飲食・美容
- ・2009.4～2011.3 ネットマーケティングリクルート全社横断の戦略立案・実行部隊責任者
- ・2012.4～2013.3 リクルートキャリア 新規事業開発
- ・2013.4～ リクルートキャリア 現職



山本 善政

日本フランチャイズチェーン協会 理事
ハードオフコーポレーション 代表取締役会長兼社長

1972年7月オーディオ販売業(株)サウンド北越(現(株)ハードオフコーポレーション)を新潟県新潟市に創業。順調に業績を伸ばすも、1992年初めに業界縮小のあおりを受け売り上げが急落。当時下取り品をガレージセールという形で販売したことがヒントとなり「ハードオフ」のビジネスモデルを考案。1993年2月「ハードオフ」へ業態転換を開始。2000年11月ジャスコ市場に株式上場を果たす。その後2004年2月に東京証券取引所第二部、2005年3月に東京証券取引所第一部に市場を変更。現在、日本全国47都道府県にグループチェーン7業態を約880店舗展開している。



藤田 一郎

I.Fujita International, Inc (IFI) 代表取締役CEO

米国を拠点に日米のフランチャイズビジネスを双方に導入する専門コンサルティング会社 I.Fujita International, Inc の代表として30年の長きにわたって活躍。米国最大の起業家専門誌で知られているEntrepreneur Magazine誌からも、その活躍が認められ、Entrepreneur of the Yearも受賞した。現 I.Fujita International, Inc の代表以外に、米国のフランチャイズ業界専門誌である「Franchise Times誌」及び米国のフランチャイズ展示会社であるMart Franchise Expo社の日本代表としても活躍している。日米両国のフランチャイズショービジネス業界に最も精通している人物の一人。



川上 健一郎

ディライト・ジャパン 代表取締役
フランチャイズ研究家

大学在学中より、(株)光通信グループに在籍し、移動体部門でトップクラスの成績を残し卒業後そのまま入社。その後、家業であった造船業を経て、2001年より「おそうじ本舗」を運営している長谷川興産(株)に入社をきっかけにフランチャイズ業界に入る。同社では2001年当時約200店舗だった「おそうじ本舗」を加盟店開発の責任者として約800店舗まで牽引。退社後はコンサルティング会社を経て、2009年「日本のフランチャイズビジネスの成功率を10%引き上げます！」をミッションにディライト・ジャパンを創業。フランチャイズ本部構築から加盟店開発までを一貫して行っている。



佐藤 信之

epoc 代表取締役
新輸出大国コンソーシアム 新輸出大国エキスパート(サービス産業分野)
株式会社エー・ピーカンパニー社外取締役/株式会社串カツ田中 社外監査役
JETRO新輸出大国コンソーシアム新輸出大国エキスパート(サービス産業分野)
一般社団法人 日本フードサービス国際化協会(JIFA)監事

外資系コンサルティング会社、外資系会計事務所、及び外食上場企業の取締役副社長などを経て、2012年株式会社epocを設立。タイを初めてとした東南アジアを中心に、食産業に特化した海外進出支援を行うと共に、「食で世界をつなぐ」をミッションとして、日本食マーケットプレスの海外展開、および日本食材の輸出販売を行い、食の海外進出プラットフォーム構築を進めている。

【「フランチャイズ・ショー」開催概要】

名称：日経メッセ 街づくり・店づくり総合展「フランチャイズ・ショー2018」（第34回）

主催：日本経済新聞社

特別協力：（一社）日本フランチャイズチェーン協会

会期：2018年1月31日（水）～2月2日（金）10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト（東京都江東区有明）東4,5ホール

開催規模：227社・団体 498小間（2018年1月25日現在、1小間＝9㎡）

入場料：入場無料（登録制）

※ウェブサイト（<http://messe.nikkei.co.jp/>）の来場事前登録をしていただくと、ご来場の際に入場がスムーズになります。（2月2日まで受付）

来場者数：30,000人以上（見込み）

出展分野：フランチャイズ本部、フランチャイズ関連ビジネス、ビジネスパートナー募集など

U R L： <http://www.fcshow.jp/>

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600（2018年2月末まで）

【日経メッセ 街づくり・店づくり総合展 -後半会期- 開催概要】

名称：日経メッセ 街づくり・店づくり総合展 -後半会期- 「JAPAN SHOP」「建築・建材展」

「リテールテック JAPAN」「SECURITY SHOW」「LED NEXT STAGE」 特別企画「商空間・住空間 NEXT」

主催：日本経済新聞社 ※「LED NEXT STAGE」は特定非営利活動法人 LED 照明推進協議会と共催

会期：2018年3月6日（火）～9日（金）10:00～17:00（最終日のみ16:30まで）

会場：東京ビッグサイト（東京都江東区有明）東1～8ホール・西3,4ホール

開催規模：992社・団体 3,355小間（2018年1月25日現在、1小間＝9㎡）

入場料：3,000円（同時開催の展示会と共通、税込み）

※ウェブサイト（<http://messe.nikkei.co.jp/>）の来場事前登録で入場無料

来場者数：200,000人以上（見込み）

U R L： <http://messe.nikkei.co.jp/>

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600（2018年3月末まで）

【「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」とは】

人口減少と少子高齢化が進む日本にあって、これからの流通・小売・サービス・通販業は、「リアルとネットの融合」「労働力不足をカバーするロボット技術やICTの利活用」「商業施設を中心とした地域活性化」「訪日客の誘致」「高齢者に配慮した店づくり」「健康で安全・安心な地域づくり」など、様々な課題を克服してゆく必要があります。

本総合展は、コミュニティのにぎわいの中心となる「店舗・商業施設」や、ビジネスの拠点である「オフィス」、豊かに暮らすための「住宅」など、にぎわい溢れる快適で安全な街づくり・店づくりのための最新ソリューション・ビジネスモデルが展示・提案される、この分野では日本最大級の総合展示会です。

1972年の初開催から数えて2017年3月会期までで46回の実績を有し、日本の街づくりと店づくりに貢献する総合展示会として歴史を作り続けます。

2018年は前半会期（1月31日～2月2日）の「フランチャイズ・ショー」と、後半会期の5展「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「LED NEXT STAGE」「リテールテック JAPAN」「SECURITY SHOW」と特別企画「商空間・住空間 NEXT」を連続して実施します。

＜ご取材お申込み FAX 返信用紙＞

株式会社オズマピーアール内 大村、成田、鳥居 行

FAX 返送先:03-3265-5135 (TEL:03-4531-0210)

＜日経メッセ ご取材のご案内＞

2020年の未来の街をつくる製品・システムが集合 日本最大級の総合展示会

「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展 フランチャイズ・ショー」

東京国際展示場「東京ビッグサイト」東 4・5 ホール

2018年1月31日(水)～2月2日(金)

ご多忙の折に恐縮ですが、ご取材の場合には以下の項目にご記入の上、
ご取材日 2 日前までに FAX にてご返信いただきますようお願い申し上げます。

※ご希望日時をご記入ください。

ご取材希望日時 1月31日(水)/2月1日(木)/2月2日(金) : ~ :

貴社名	
貴媒体(番組)名	
ご芳名	(合計 名 ご本人様含む)
ご連絡先	TEL FAX 携帯 MAIL @
カメラの有無	<input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> デジカメ <input type="checkbox"/> ENG
備考	希望・想定ご取材先/内容等 ございましたら

※個人情報のお取扱いについて本イベントのお申込みに関する個人情報は、本イベントの出欠確認のほか、同様のイベントなどのご案内以外に使用いたしません。

※個別取材等のご希望があれば「備考」欄に記載をお願い致します。但し、個別取材は別途調整になります。

お時間、内容等により実施出来ない場合がございます。予めご了承下さい。

プレスルーム(報道受付)のご案内

開催期間中、報道受付及びプレスルームを下記に設置しております。連日の取材の場合でも、館内の撮影、取材の前には必ず各日プレスルームにお立ち寄りいただきますようお願い申し上げます。

※プレスバッジ(取材、撮影用)は、報道受付時に配布いたします。連日取材いただく場合でも、必ずその都度ご返却ください。

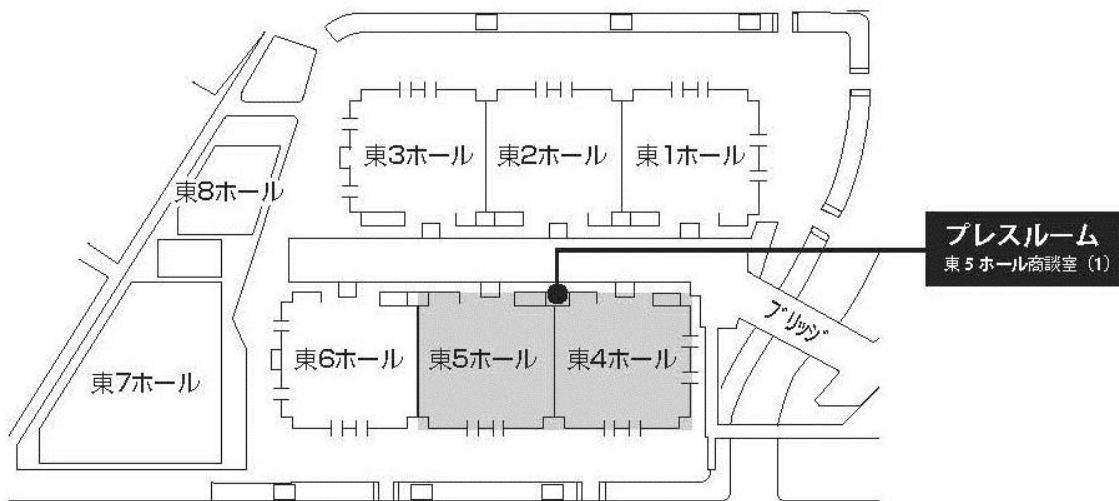
<プレスルーム>

(東5 ホール・商談室1) / TEL:03-5530-1450(会期中のみ)

<利用日時>

2018年1月31日(水)～2月2日(金) 10:00～17:00

※初日のみ9:00～



◆報道関係者の方のお問合せ先◆

日経メッセ 街づくり・店づくり総合展 広報事務局(オズマピーアール 内) 担当:大村、成田、鳥居
TEL.03-4531-0210 FAX.03-3265-5135 E-mail. nmpr@ozma.co.jp